患者向医薬品ガイド

2024年12月更新

カプトプリル錠12.5「ＳＷ」
カプトプリル錠25「ＳＷ」

【この薬は？】

販売名	カプトプリル錠12.5「ＳＷ」 CAPTOPRIL Tablets 12.5 [SW]	カプトプリル錠25「ＳＷ」 CAPTOPRIL Tablets 25 [SW]
一般名	カプトプリル Captopril	
含有量 （１錠中）	12.5mg	25mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、アンジオテンシン変換酵素阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の生成を抑えることで血圧を下げます。
・次の病気の人に処方されます。

○本態性高血圧症
○腎性高血圧症
○腎血管性高血圧症
○悪性高血圧

・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にカプトプリル錠「ＳＷ」に含まれる成分で過敏症のあった人
・過去に血管浮腫になったことのある人
・アフェレーシス※1を受けている人で、デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器を使っている人
・血液透析※2を受けている人で、アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜(AN69)を使っている人
・妊婦または妊娠している可能性がある人
・アリスキレンフマル酸塩(ラジレス)を使用している糖尿病の人（ただし、その他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）
・アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物）を使用している人、あるいは投与中止から 36 時間以内の人

※１アフェレーシス：患者さんの血液中から不必要な成分を取り除いて、浄化した血液を再び患者さんに戻す方法

※２血液透析：患者さんの血液を体外へ送り出し、人工腎臓(透析装置)で血液中にたまった老廃物を取り除き、水や電解質のバランスを整え、きれいになった血液を再び患者さんに戻す方法

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・腎動脈狭窄のある人
・高カリウム血症の人
・造血障害のある人
・全身性エリテマトーデス（SLE）などの免疫異常のある人
・消化性潰瘍のある人、過去に消化性潰瘍のあった人
・脳血管に障害がある人
・光線過敏症にかかったことのある人
・重い高血圧症の人
・厳重な減塩療法中の人
・腎臓に障害がある人、過去に腎臓に障害のあった人、血液透析中の人
・肝臓に重篤な障害がある人
・授乳中の人

〇この薬には次のような併用してはいけない治療法があります。アフェレーシスや血液透析を受ける場合は、必ず医師に相談してください。

・アフェレーシスでデキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いる場合
・血液透析でアクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜を用いる場合

○この薬には併用してはいけない薬［アリスキレンフマル酸塩（ラジレス）（糖尿病の人の場合、ただし、他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）（サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物（エンレスト））］や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	カプトプリル錠 12.5「ＳＷ」	カプトプリル錠 25「ＳＷ」
１日量	37.5～75mg ただし、症状により１日 150mg まで増量されることがあります。	
飲む回数	１日３回	

●どのように飲むか？

コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。
気がついた時に、１回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は１回とばして、次の時間に１回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人は高カリウム血症をおこすおそれがあるため、これらの人では必要に応じて血液検査がおこなわれます。
・この薬の飲み始めに一時的に急激な血圧の低下（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、気を失う）があらわれることがあるので、そのような場合には、医師に連絡してください。特に、次の人は十分注意してください。
　・重い高血圧症の人
　・血液透析中の人
　・利尿剤を使用している人（特に最近使用を開始した人）
　・厳重な減塩療法中の人
・過去に腎臓の病気になったことがある人や腎臓に障害がある人は蛋白尿があらわれやすいので、定期的に腎臓の機能や尿の検査がおこなわれます。
・腎臓に障害がある人や重い自己免疫疾患（特に全身性エリテマトーデス）または免疫抑制剤を使っている人は好中球減少や無顆粒球症があらわれやすいので、これらの人では定期的に検査がおこなわれます。
・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるため、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
・手術前２４時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいることを医師に伝え、医師の指示に従ってください。

・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
・この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続）は、速やかに医師に相談してください。
・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。
特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
・この薬の使用前及び使用中も定期的に医師や薬剤師が妊娠していないことを確認します。
・授乳している人は医師に相談してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》
（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
汎血球減少 はんけっきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重が増える
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、お腹が張る
天疱瘡様症状 てんぽうそうようしょうじょう	全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水疱）やびらんが多発する
狭心症 きょうしんしょう	しめ付けられるような胸の痛み､胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、あごの痛み、左腕の痛み

重大な副作用	主な自覚症状
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重が増える
心停止 しんていし	気を失う
アナフィラキシー アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発熱をしばしば伴う
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	出血しやすい、発熱、寒気、突然の高熱、むくみ、体がだるい、体重が増える、体のしびれ、体に力が入らない、冷汗が出る、疲れやすい、ふらつき、発熱をしばしば伴う、体重が減る
頭部	めまい、気を失う、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、鼻血、あごの痛み
眼	目の充血やただれ
耳	耳鳴り
口や喉	喉がつまる感じ、声が出にくい、歯ぐきからの出血、喉の痛み、吐き気、嘔吐、喉のかゆみ、唇や口内のただれ、喉が渇く
胸部	息苦しい、息切れ、動悸、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ
腹部	お腹が張る、強い腹痛
背中	背中の痛み
手・足	左腕の痛み

部位	自覚症状
皮膚	あおあざができる、全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水疱）やびらんが多発する、全身のかゆみ、じんま疹、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、皮膚が黄色くなる
便	下痢、油っぽい下痢が出る
尿	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる、尿量が増える

【この薬の形は？】

販売名	カプトプリル錠 12.5「ＳＷ」	カプトプリル錠 25「ＳＷ」
ＰＴＰシート		
形状	円形の錠剤（割線入り） 	円形の錠剤
直径	6.0mm	7.0mm
厚さ	2.4mm	2.5mm
重さ	90mg	120mg
色	白色	
識別コード	ＳＷ ２０３	ＳＷ ２１５

【この薬に含まれているのは？】

販売名	カプトプリル錠 12.5「ＳＷ」	カプトプリル錠 25「ＳＷ」
有効成分	カプトプリル	
添加剤	結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸、タルク、部分アルファー化デンプン、リン酸水素カルシウム	結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：沢井製薬株式会社（https://www.sawai.co.jp）
お客様相談室
電話番号：０１２０-３７３-３８１
受付時間：９時～１７時
（土、日、祝日、その他当社休業日を除く）